

～校区住民のみなさん～

うつさない・うつらない

## 新型コロナウイルス対策の徹底を！！

- 日本の感染者 1万人超 三田市9人（いずれも4月20日現在）
- 国の緊急事態宣言期間（全都道府県） 5月6日まで

三田市では、4月15日に新型コロナウイルス感染症にかかる非常事態宣言を行い、これ以上感染拡大させないため一層の外出自粛と感染予防を市民に訴えられています。

私たちは、手洗いやアルコール消毒、マスクの着用、3密を避けるなど感染防止対策を徹底し、出来るだけ早く感染が収束し普通の生活ができることを願うばかりです。



## 志手原校区地域づくり協議会や様々な地域活動にも影響が！！

人との接触を可能な限り避けることが感染予防につながることから、地域活動を支えて頂いている団体においても、打ち合わせや総会が開けないなどによって活動が遅延していることと思います。

また、各地区のサロンなど高齢者等を対象とした活動や、住民同士のふれあいの機会も少なくなっていますが、何よりも命が大切ですので感染予防を徹底しましょう。

志手原校区地域づくり協議会も、「地域づくり計画」や新しい地域活動体制がスタートする大事な時期を迎えていますが、新型コロナウイルス感染予防対策によりその取り組みも遅れています。

住民の皆さんからも、地域づくり協議会の取組が見えないと言った声も頂いていますので、本地域づくりだよりで主な取り組み内容等をお知らせいたします。（裏面）

# 志手原校区地域づくり協議会の主な取り組みの状況

## ○地域づくり計画の策定経緯

- ・ 昨年度は、住民アンケートや協議会構成団体の意見交換会の意見を参考に、地域づくり計画の策定に集中的に取り組んできました。
- ・ 具体の計画づくりは、構成団体や公募住民 24 名でつくる「策定委員会」において、4つの分科会に分かれ、より多くの住民の声を聴くため小規模座談会を開催しました。
- ・ 役員会をはじめ、策定委員会、分科会、調整会議など延べ 41 回に及ぶ会議を重ね、向こう 5 か年で取り組む「地域づくり計画」（案）がまとまりました。



第 1 回策定委員会の様子

## ○地域づくり計画案の内容

※基本目標：「住んで良かったと思える温もりのある地域づくり」を基本目標に、地域の豊かな資源や優れた人材を生かし、住民の参画と協働で取り組みます。

※計画の内容は以下の 2 本柱で構成しています。

### ①志手原校区の将来の姿や具体の取組

- ・ 少子高齢化時代における暮らし、住民同士で創る元気な地域、地域の魅力づくり、みんなで進める活動のしくみ、の 4 つのテーマに沿って具体の事業内容を計画し、事業スケジュールを示しています。

### ②計画の実行を含む地域運営体制と地域づくり協議会組織の見直し

- ・ 志手原校区ふれあい活動推進協議会などの団体の廃止と運営のスリム化を進めます。
- ・ 地域づくり協議会に「運営委員会」や 4 つの「事業部会」を設置し、構成団体や住民のみなさんの参加の基で地域運営を進めます。

#### 【4 つの事業部会】

- ・ 第 1 事業部会 … 誰もが安心して暮らせる地域づくり部会
- ・ 第 2 事業部会 … 住民同志で作る協働の地域づくり部会
- ・ 第 3 事業部会 … 魅力を生かした元気な地域づくり部会
- ・ 第 4 事業部会 … 収益事業検討部会

## ○今後の対応について

- 令和 2 年度定期総会の開催  
「地域づくり計画」や「令和 2 年度の事業計画・予算」「役員体制」の決定
- 地域づくり計画の実行や地域運営を担う「運営委員会」や「事業部会」の体制づくり
- 「地域づくり計画」の住民周知など

これらの取組が遅れています。今後の進め方については 5 月 6 日の緊急事態宣言終了後の状況を判断して検討してまいりますので、ご理解とご協力の程よろしくをお願いします。

志手原校区地域づくり協議会事務局

三田市志手原 8 8 1

☎ 0 7 9 - 5 5 6 - 7 1 1 9

✉ sidehara-chikyoma@beach.on.ne.jp